

社会資本総合整備計画														防災・安全交付金		令和07年01月31日			
計画の名称	堺市における災害に強い快適な生活環境の整備（防災・安全）（第3期）																		
計画の期間	令和06年度 ～ 令和08年度（3年間）														重点配分対象の該当				
交付対象	堺市																		
計画の目標	災害時における避難場所を提供し、防災・減災に寄与する都市公園の整備を着実に進める。																		
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		468	A	468	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）			0	%			

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R06当初	R07末	R08末
1	整備計画期間における防災・減災に寄与する都市公園の整備による避難可能人数の増加			
	整備計画期間における防災・減災に寄与する都市公園の整備による避難可能人数（水質池公園） 都市公園の避難可能人数	3400人	人	14000人
2	想定事業期間中の総事業費（整備費-維持管理費等）の削減率			
	想定事業期間中の総事業費（整備費-維持管理費等）の削減率 （従来の公共事業のLCC-民間活力導入時のLCC）／従来の公共事業のLCC×100	0%	0%	6%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	堺市	直接	堺市	－	－	都市計画公園事業（水質池公園）（５か年防公）	災害時に一次避難地となる公園整備 A=4.3ha	堺市	■					425	4.715	－	
	A12-002	公園	一般	堺市	直接	堺市	－	－	都市計画公園事業（金岡公園）	公園整備運営を行うための調査	堺市		■	■			43		－	
												小計						468		
											合計						468			

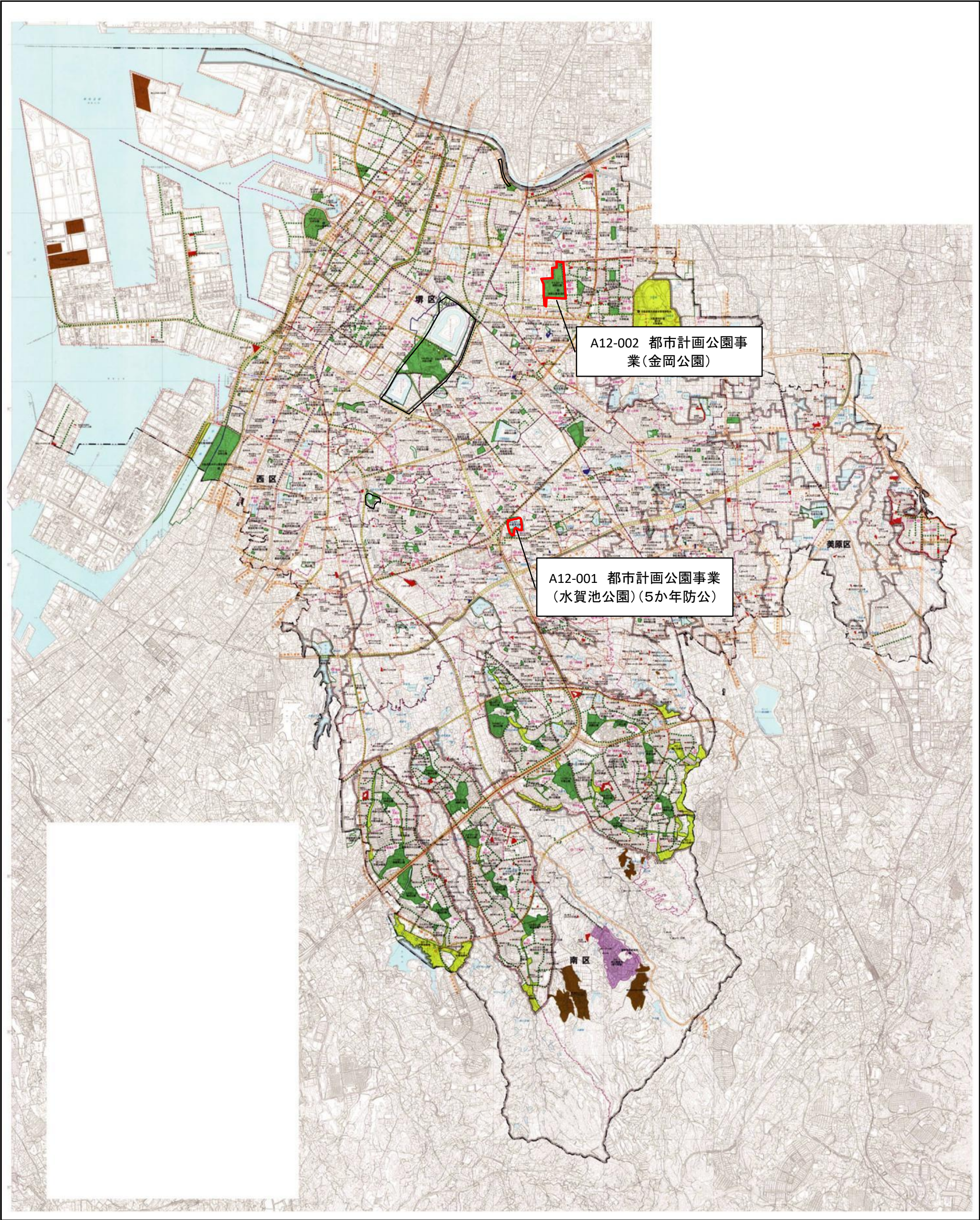
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R06	R07			
配分額 (a)	212	5			
計画別流用増△減額 (b)	0	△5			
交付額 (c=a+b)	212	0			
前年度からの繰越額 (d)	0	212			
支払済額 (e)	0	212			
翌年度繰越額 (f)	212	0			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面)

計画の名称	堺市における災害に強い快適な生活環境の整備（防災・安全）（第3期）		
計画の期間	令和6年度 ～ 令和8年度（3年間）	交付対象	堺市



事前評価チェックシート

計画の名称： 堺市における災害に強い快適な生活環境の整備（防災・安全）（第3期）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。（上位計画名：堺市緑の基本計画、堺市地域防災計画、防災公園機能強化計画 等）	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性） 1) 本市の課題を踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性） 2) 本市のまちづくりに必要な施策に位置づけられている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③整備計画の目標と定量的指標の整合性 1) 計画の目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④定量的指標の明瞭性 1) 定量的指標は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④定量的指標の明瞭性 2) 定量的指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑤目標と事業内容の整合性 1) 計画の目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑤目標と事業内容の整合性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑥事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 1) 十分な事業効果が確認・期待されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑥事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
I. 目標の妥当性	
⑦円滑な事業執行の環境（事業塾度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性） 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
I. 目標の妥当性	
⑦円滑な事業執行の環境（事業塾度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性） 2) 計画について住民や民間事業者等との間で合意が形成されている。	○
I. 目標の妥当性	
⑧地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性） 1) 住民等から事業実施についての要望がある。	○
I. 目標の妥当性	
⑧地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性） 2) 計画について住民・民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○